

学生向け就職情報サイト『[en]学生の就職情報』
2014年度新卒採用 就職・採用活動 5月度調査報告

企業の内定出し開始率は、4月度に続き12年度・13年度を上回る70.5%

学生の内定取得率は37.5%、13年度に比べやや減少
複数企業から内定を取得している学生の比率は増加

人材総合サービス企業のエン・ジャパン株式会社（本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木孝二）が運営する、学生向け就職情報サイト『[en]学生の就職情報』（<http://gakusei.enjapan.com/>）は、2014年3月卒業予定の学生と求人企業を対象に、『2014年度新卒採用 就職・採用活動アンケート』を実施いたしましたので、以下、概要をご報告いたします。

【注目動向①】>> 現在の就職・採用活動の状況】

●<学生>学生1人あたりの面接参加社数は8.8社（図1、2、3、4、5、6）

学生1人あたりの企業セミナー予約数は22.9社（13年度:24.6社）、企業セミナー参加社数は19.9社（13年度:21.2社）となり、13年度をやや下回りました。面接参加社数は、8.8社（13年度:9.0社）となり、13年度並みとなっています。

●<学生>5月度の内定取得率は37.5%、13年度に比べやや減少

一方、複数企業から内定を取得している学生の比率は増加（図7、8、9、10、11、コメント1、2）

5月度の内定取得率は37.5%となり、13年度を2.4ポイント下回りました。内定取得状況の内訳をみると、複数の企業から内定を取得していると回答した学生は、13年度よりも2.0ポイント増の17.1%となっています。た、13年度に比べ内定取得率がやや低いことから、現在(5月)の悩みは「面接」(23.2%)が最も多く、13年度よりも2.7ポイント増加しています。

●<企業>内定出し開始率は、12年度、13年度を上回る70.5%

13年度に比べ「母集団形成」に悩む企業が増加（図12、13、14、15）

企業セミナー開始率は93.7%（13年度:85.6%）、選考開始率は87.7%（13年度:79.8%）で、いずれも13年度を上回りました。また、内定出し開始率(70.5%)が12年度・13年度に比べ高いことから、内定受諾率(学生から内定承諾を得た率)も、12年度・13年度より高い57.0%となっています。

現在(5月)の悩みは「母集団形成」(28.4%)が最も多く、13年度より6.6ポイント増加しています。

●<企業>前年と比較した採用状況を「厳しい」と回答した企業は13年度に比べ増加

（図16、17、18、コメント3）

「前年よりも採用状況が厳しい」と回答した企業は、13年度は35.0%であったのに対し、今年度は42.2%となりました。また、採用数確保の見込みが立っていないと回答した企業も、13年度に比べ6.9ポイント増の32.4%となり、採用に苦戦している状況がうかがえます。

本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：矢元・大原 <http://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー35階

TEL : 03-3342-4506 FAX : 03-3342-4507 MAIL : en-press@en-japan.com

【エン・ジャパン株式会社について】

人材総合サービス企業のエン・ジャパンは、日本最大級の求人求職サイト「[en]社会人の転職情報」や「[en]転職コンサルタント」をはじめとした6つの求人情報サイトを運営しています。さらに、これら日本最大級の求職者データベースから、人材紹介事業を展開しています。また、採用・教育・評価を一体化・統合化する独自の人事システム「3Eメソッド(R)」を開発し、スキルマッチに留まらない、より組織・事業にフィットした人材の採用から、入社後の活躍・定着までを一貫して実現するサービス展開を行ってまいります。

【注目動向②】>> 採用活動・就職活動のスケジュール変更について】**●<学生>現在の就職活動期間に対する学生の印象は様々(図19、20、コメント4)**

現在の就職活動期間に対する印象について、「ちょうど良いと思う」(34.9%)と回答した学生が最多となったものの、「長いと思う」(26.4%)、「短いと思う」(28.3%)と回答した学生もそれぞれ3割程みられました。学生の就職活動の進捗状況や置かれている状況によって、現在の就職活動期間に対する印象は様々なようです。

また、現在のスケジュールで良かった点として「12月に始まったので、色々と業界研究をしながら、春休みに業界を絞って就活する事ができた」「面接が本格化する時期が春休みで良かった」などが挙げられました。一方で、「就職活動の時期が短かったので、多くの企業を見る事が出来なかった」「1月にテストがあったので、就活のセミナーがあり困った」といったマイナス面も挙げられました。

●<企業>約6割の企業が、採用活動時期が変更された場合「これまでより採用活動が難しくなる」と回答(図21、コメント5)

採用活動時期が変更された場合「これまでより採用活動が厳しくなる」と回答した企業は59.5%でした。

企業規模別で見ると、従業員数300名以上の企業は300名未満に比べ「これまでより採用活動が厳しくなる」と回答した比率が高くなりました。また、300名以上では「選考期間が短くなることで、予定採用数を確保できるかが不安」「学生の就職活動時期の短縮化により、企業研究がより浅くなる事が懸念される」といった、採用活動期間が短くなることに不安を感じているようです。

一方、300名未満では「大手や中堅、異業種とも優秀な学生の取り合いが繰り広げられると感じる」「これまで8月後半～9月に採用行っていたが、同時期に選考を行う企業が増えると、いい学生に内定を出しても後から内定を受けた企業に流れてしまう可能性がある」など、同時期に採用活動を行う企業が増えることに対する不安が挙げられました。

【「[en] 学生の就職情報」について】 <http://gakusei.enjapan.com/>

大学生・大学院生・短大生・専門学生を対象とした、力のある中堅・中小・ベンチャー企業に特化した求人情報を掲載している学生向け就職情報サイト。イメージ先行の就職活動を行いがちな学生に対し、規模や知名度では計りしれない企業の「力」を5つの「力」の項目で紹介し、仕事理解を深めます。

本ニュースリリースに関する問合せ先**広報担当：矢元・大原** <http://corp.en-japan.com/>**エン・ジャパン株式会社**〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー35階
TEL : 03-3342-4506 FAX : 03-3342-4507 MAIL : en-press@en-japan.com

【調査概要】

<学生調査>

対象：「[en]学生の就職情報2014」に登録するモニター学生
 期間：2013年5月7日～5月14日
 方法：E-mailによるWEB投票画面の配信
 有効回答数：848名

■男女

女性	男性
64.3%	35.7%

■文理

文系	理系
71.5%	28.5%

■学校区分1

四年制大学	大学院	その他
87.4%	9.4%	3.2%

■学校区分2

私立	国立	公立	その他
75.4%	17.7%	5.7%	1.3%

■在籍地域

北海道	東北	関東	甲信越	東海・中部	近畿	中国	四国	九州	海外
2.2%	3.4%	47.1%	2.6%	13.0%	23.1%	2.9%	1.5%	3.9%	0.2%

<企業調査>

対象：「[en]学生の就職情報パートナーズNEWS」登録企業
 期間：2013年5月7日～5月14日
 方法：E-mailによるWEB投票画面の配信
 有効回答数：256件

■本社所在地

東北・北海道	北陸	関東	甲信越	東海	四国	中国	近畿	九州・沖縄
1.2%	0.8%	56.3%	0.4%	16.8%	3.1%	2.7%	16.8%	2.0%

■企業規模

300名未満	300～1000名未満	1000～3000名未満	3000名以上
60.2%	27.0%	7.8%	5.1%

■業種区分

メーカー	商社	流通・小売	金融	マスコミ	情報・通信	サービス	その他
27.3%	12.9%	8.6%	2.0%	2.3%	22.3%	16.4%	8.2%

【その他の調査項目】

※下記の結果に興味のある方は、広報までお問合せください。

<学生調査>

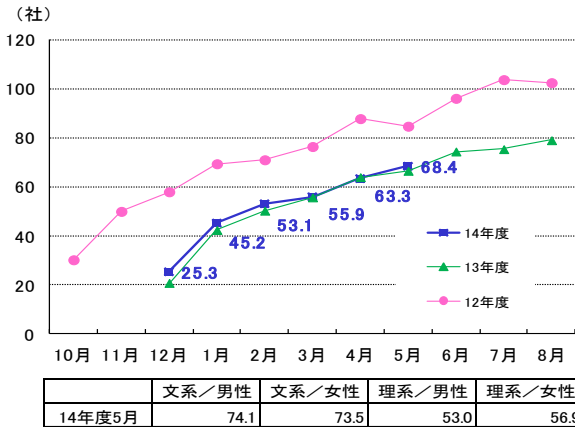
- ・興味関心のある企業規模

<企業調査>

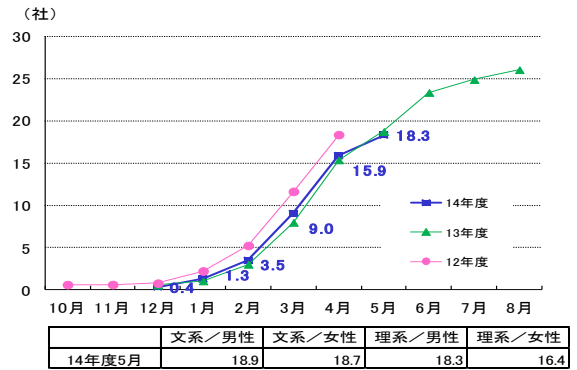
- ・エントリー受付開始率

※一般財団法人 エン人財教育センター調べ

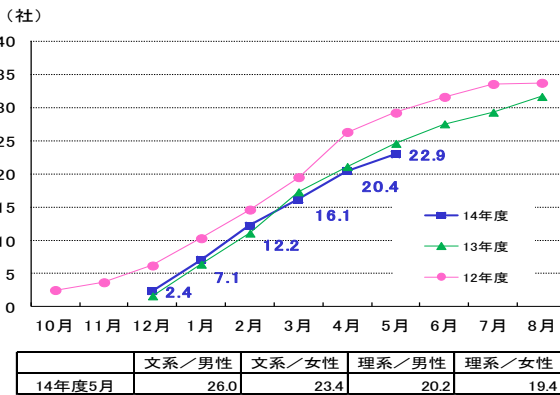
【図1：エントリー社数※3カ年比<学生調査>】



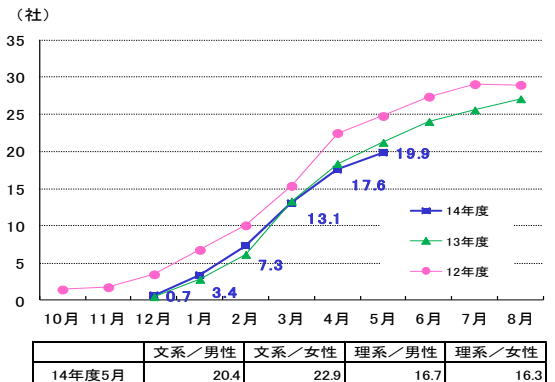
【図2：エントリーシート提出数※3カ年比<学生調査>】



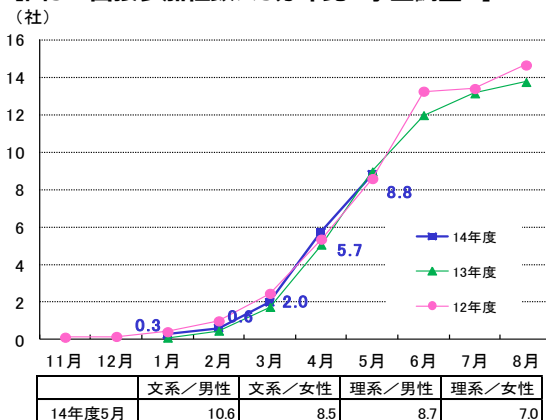
【図3：企業セミナー予約社数※3カ年比<学生調査>】



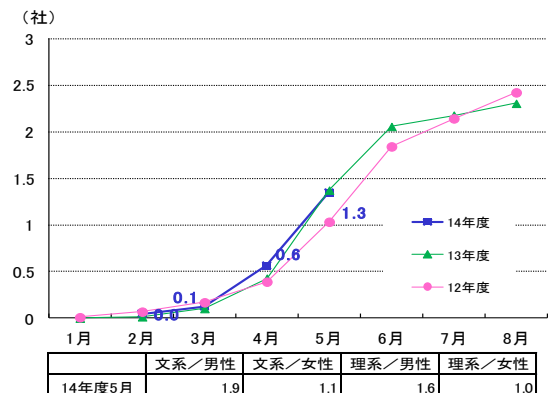
【図4：企業セミナー参加社数※3カ年比<学生調査>】



【図5：面接参加社数※3カ年比<学生調査>】



【図6：最終面接参加社数※3カ年比<学生調査>】



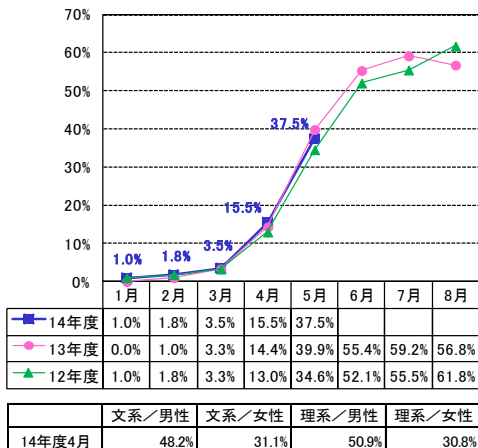
本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：矢元・大原 <http://corp.en-japan.com/>

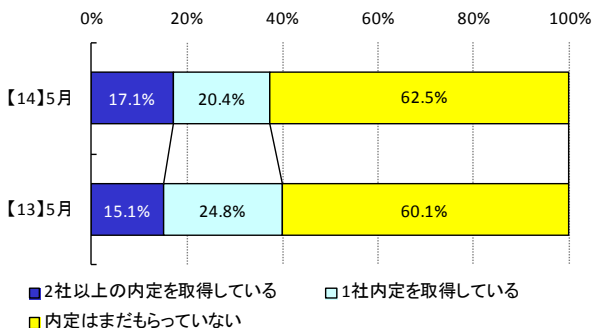
エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー35階
 TEL : 03-3342-4506 FAX : 03-3342-4507 MAIL : en-press@en-japan.com

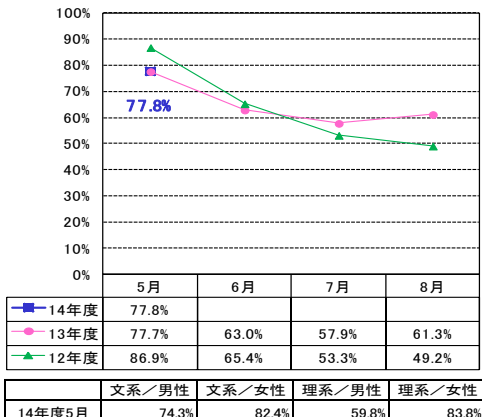
【図7：内定取得率※3カ年比<学生調査>】



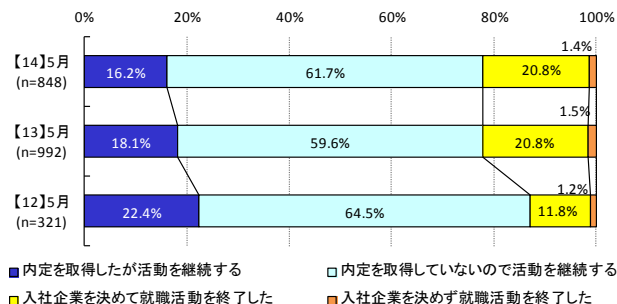
【図8：内定取得状況※前年比<学生調査>】



【図9：就職活動継続率※3カ年比<学生調査>】



【図10：就職活動継続状況※3カ年比<学生調査>】



【コメント1：就職活動を継続・終了する理由<学生調査>】

<内定を取得したが活動を継続する>

- 志望度の高い企業の選考がまだ残っているから。(文系/女性)
- 選考辞退の勇気がない。(文系/男性)
- 内定を複数とった上で、何を優先して就職先を決めるのかも一度考えたい。(文系/女性)
- 内定先に不満があるわけではないが、今受けている企業に魅力を感じているから。内定先で決めるという選択肢もあるが、今後の人生を大きく左右することなので、慎重に決めたい。だからできることは最後までする。(理系/男性)

<入社企業を決めて活動を終了した>

- 志望度も高く、納得できる企業からの内々定を得られたから。(理系/女性)
- 自分が企業研究を重ねて、社員さんともたくさん合わせて頂いてすごく魅力を感じ、これ以上の企業はないと思った所から内定を頂けたから。(文系/男性)
- 第一希望群のひとつではあったが、心の底から納得しているわけではない。しかし転職を考える上でネームバリューは非常に良いと考えているため。(理系/男性)
- 就職活動も疲れたし、内定も頂けたので終了する。(文系/女性)

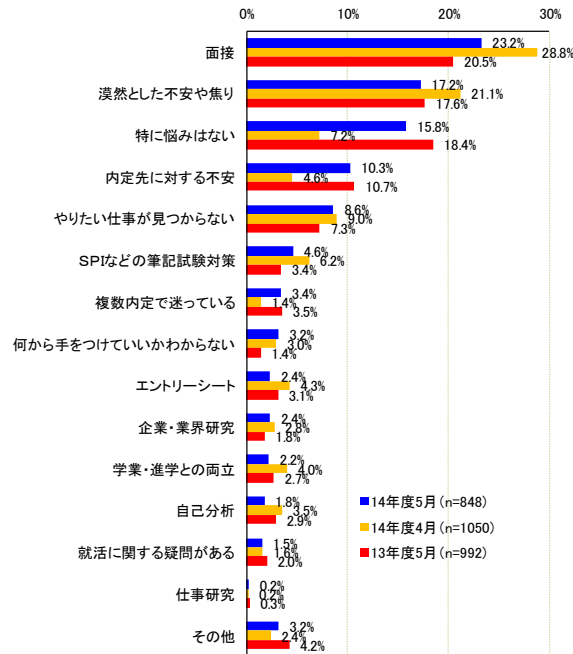
本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：矢元・大原 <http://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー35階
TEL：03-3342-4506 FAX：03-3342-4507 MAIL：en-press@en-japan.com

【図11：現在の悩み※前年比・前月比<学生調査>】



【コメント2：現在の悩み※理由<学生調査>】

<面接>

・何度か面接を経験しているが、面接から次に進めない。(理系/男性)

<漠然とした不安や焦り>

・5月に入ると、周りの人達が皆内々定をもらっているの、自分も早く欲しいと焦るし、不安になる。自分が本当にやりたい仕事がかかわらなくなる。(文系/女性)

<内定先に対する不安>

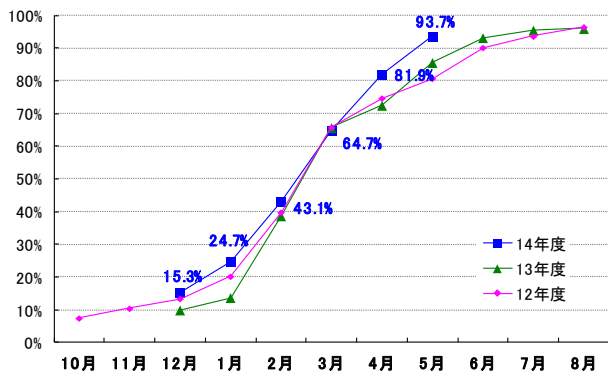
・インターネットの掲示板に待遇や労働環境などの面について良くない書き込みが見られたため、本当にその企業に就職して大丈夫なのか不安に感じています。(文系/男性)

・志望順位の高い企業から内々定をいただけたが、社員の声をあまり聞く機会が無かったため、実際の仕事内容などにも不安がある。(理系/女性)

<複数内定で迷っている>

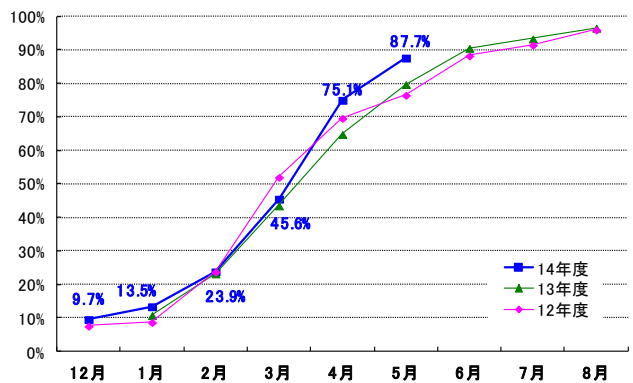
・複数内定を頂き、嬉しいもののいざどの企業を選ぶかとなると判断基準に迷ってしまう。同期の学生や若手社員の方々との交流などがあれば良いが、そういう機会もなかなかないので情報量の少なさに悩んでいます。(文系/男性)

【図12：企業セミナー開始率※3カ年比<企業調査>】

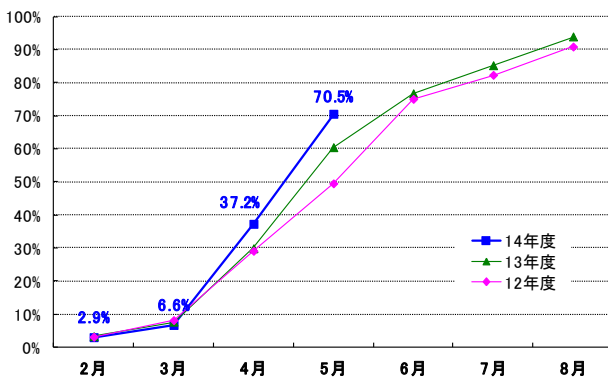


【図13：選考開始率※3カ年比<企業調査>】

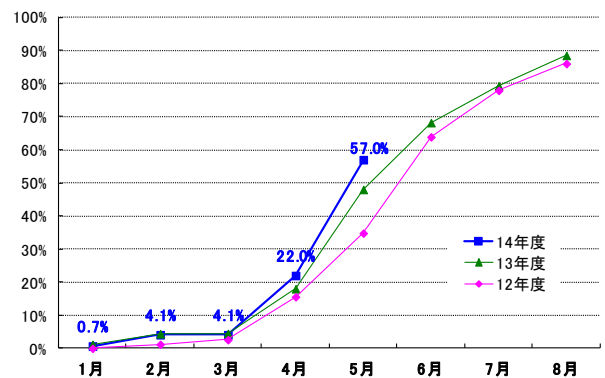
※13年度は1月より開始



【図14：内定出し開始率※3カ年比<企業調査>】



【図15：内定受諾率(学生から内定承諾を得た率)※3カ年比<企業調査>】



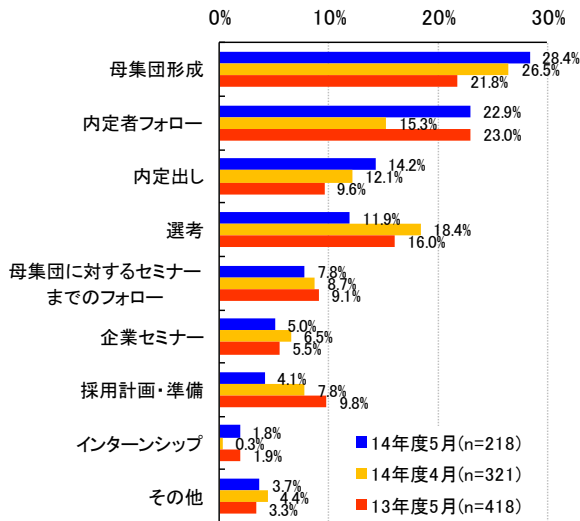
本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：矢元・大原 <http://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー35階
 TEL：03-3342-4506 FAX：03-3342-4507 MAIL：en-press@en-japan.com

【図16：現在の悩み※前年比・前月比<企業調査>】



【コメント3：現在の悩み※理由<企業調査>】

＜母集団形成＞

・初期母集団に対する選考が一段落し、第二陣の獲得を目指して母集団の再形成が必要となっているから。
 (情報・通信/300名未満/関東)

＜内定者フォロー＞

・新卒採用の担当が1名しかいない事。また、現場社員を採用プロセスやフォローに借り出す事ができない事によりフォローの頻度向上や内容を充実させていくことが難しい状況であるため。(商社/300名～1000名/近畿)

＜内定出し＞

・内定出しの人数が難しい。内定辞退を考慮し多く出し過ぎると定員枠を超え、少ないと定員枠を割る。結局、定員枠割れの採用となる。(メーカー/300名未満/関東)

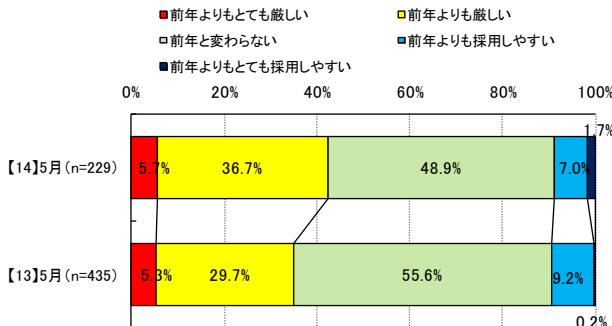
＜選考＞

・業界・仕事内容を理解し、志望意欲を持って選考に進んでもらえるような施策が必要。
 (商社/300名未満/関東)

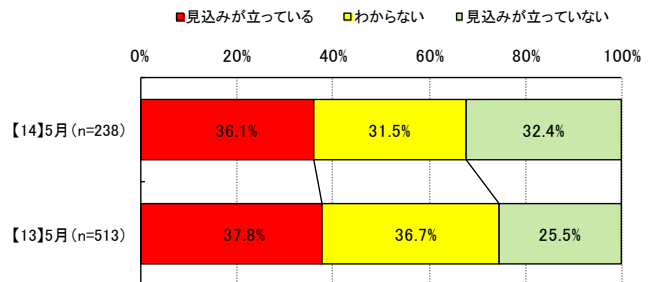
＜母集団に対するセミナーまでのフォロー＞

・参加した学内セミナーの動員数及び説明会への動員数が少ない。費用対効果に見合わない。
 (商社/300名～1000名/関東)

【図17：前年と比較した採用状況※前年比<企業調査>】



【図18：14年度採用数確保見込み※前年比<企業調査>】



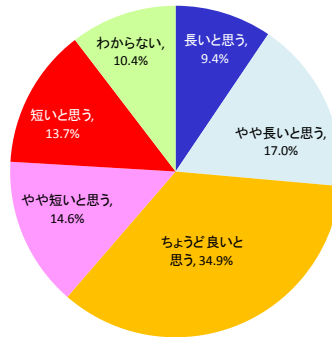
本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：矢元・大原 <http://corp.en-japan.com/>

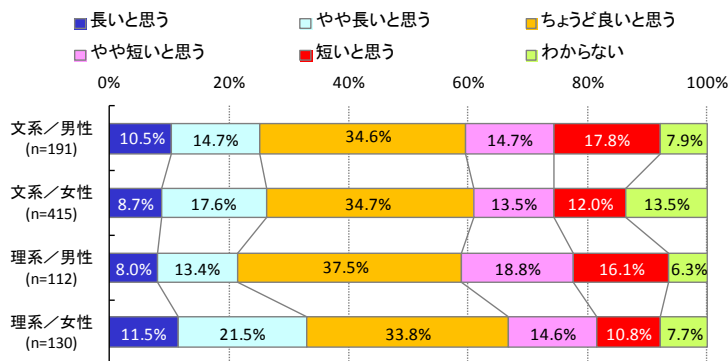
エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー35階
 TEL：03-3342-4506 FAX：03-3342-4507 MAIL：en-press@en-japan.com

【図19：現在の就職活動期間に対する印象※全体<学生調査>】



【図20：現在の就職活動期間に対する印象※男女文理別<学生調査>】



【コメント4：現在の就職活動スケジュールで良かった点・悪かった点<学生調査>】

＜現在の就職活動スケジュールで良かった点＞

- ・12月に始まったので、色々と業界研究しながら、春休みに業界を絞って集中的に就職活動をする事ができた。(文系／女性)
- ・面接などが本格化する時期が、春休み期間中であつたため良かった。また、企業研究の間も冬休みであり、長期の休みを上手く使ったスケジュールであつたと感じた。(文系／男性)
- ・多くの会社が一斉に行ってくれるので一度の移動で多くの会社にいけること、また生活のリズムができること。(理系／男性)

＜現在の就職活動スケジュールで悪かった点＞

- ・就職活動の時期が短かつたので、より多くの企業を見る事ができなかった。(理系／男性)
- ・2月に個別企業説明会が集中していたこと。志望企業の説明会が被ってしまうこともあった。(文系／女性)
- ・4月に学校が再開されると同時に、面接ラッシュがやってくること(文系／男性)
- ・1月に学校のテストがあつたのですが、その時に就職活動のセミナーがあり困りました。(文系／女性)

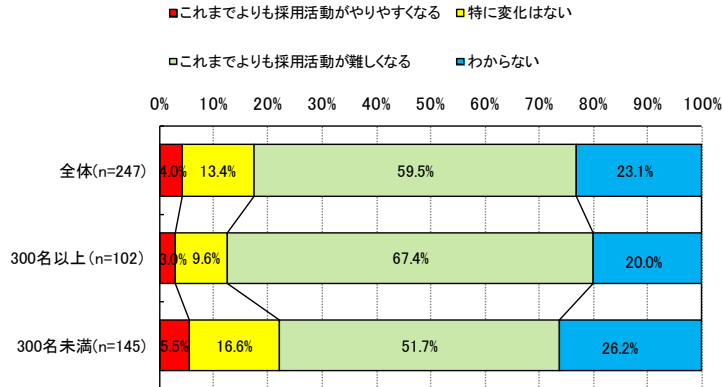
本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：矢元・大原 <http://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー35階
 TEL : 03-3342-4506 FAX : 03-3342-4507 MAIL : en-press@en-japan.com

【図21：採用活動スケジュール変更の影響<企業調査>】



【コメント5：採用活動スケジュール変更の影響<企業調査>】

<これまでよりも採用活動がやりやすくなる>

・活動期間の短縮により、人的負担、コストともに軽減される。（情報・通信／300名未満／関東）

<これまでよりも採用活動が難しくなる>

- ・1次選考で採用枠が埋まらなかった場合、2次選考をすることとなるが、時期が遅すぎて採用活動どころでないと思う。（メーカー／1001名～3000名／東海）
- ・新入社員の入社と採用活動が重なり、担当者に負荷がかかるほか、現場からのフォローが得にくくなる。（サービス／300名～1000名／関東）
- ・選考期間が短くなることで、予定採用数を確保できるかが不安。選考スタート時期を遵守しない企業に優秀な学生が流れてしまう懸念があると感じるため。（メーカー／3001名～／関東）
- ・学生の就職活動時期が短縮化されることにより、企業研究がより浅くなることが懸念される。（商社／300名～1000名／東海）
- ・同時期に同業大手や中堅、または異業種とも優秀層の取り合いが繰り広げられると感じる。（情報・通信／300名未満／近畿）
- ・これまで8月半～9月に採用活動を行うことが多かったため、同時期に選考を行うことになるという学生に内定を出しても、後から内定を受けた企業に流れてしまう可能性が高くなると考えられるから。（商社／300名未満／関東）

<分からない>

・短期間なので一発勝負の様相が出るかも知れません。しかし長期間 エントリーした学生をフォローする労力からは解放されます。（流通・小売／300名未満／近畿）